

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
179	B-03009369	男性	14歳	150mg	カルボシステイン 塩酸プロムヘキシン 塩酸プロカテロール セフトレキシム	統合失調症	軽快	臨床診断からインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夜から内服開始。4日目まで服用し、インフルエンザ様症状は改善。服用終了後5日目頃から、身体がおかしいとの訴えがあり、経過観察のため入院。妄想様言動、全身を随意的に前後に揺さぶるような震え等が認められた。入院3日目に妄想様言動等が認められず退院となったが、翌日精神科に受診したところ統合失調症が考えられ、外来で経過観察となった。2週間後、症状はほとんど消失。
180	B-03009543	男性	14歳	150mg	アセトアミノフェン	意識変容状態 意識変容状態	回復	自宅にあったリン酸オセルタミビル150mg/日及びアセトアミノフェンを服用。同日夜、多汗、顔面蒼白になり後方に転倒、意識不明となる。病院では意識清明でインフルエンザA型と診断され帰宅するが、脱力転倒、関連性のない発語を繰り返す、呼びかけへの応答はない。翌朝は、意識清明で、本人は転倒した記憶もあり。入院し頭部CT、腰椎穿刺を行うが異常所見なし。以降、意識障害なし。
181	B-05026848	男性	14歳	150mg	塩化リゾチーム 塩化デカリニウム	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	インフルエンザ確定診断で陰性だったが、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に意識レベルの低下と痙攣が発現し、後ほど回復した。リン酸オセルタミビル服用開始から4日目に服用を中止した。
182	B-06000039	男性	14歳	75mg	セフトラムピボキシル	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に全身の痙攣が見られ、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルの投与は1回で中止した。
183	B-06022862	男性	14歳	150mg	なし	意識変容状態	回復	迅速キットにて陰性であったが、臨床症状に鑑み、予防目的でリン酸オセルタミビル75mgx2回/日投与開始。翌日、意識障害(意識レベルの低下)発現。6日後、意識障害回復、退院。
184	B-06025005	女性	14歳	150mg		悪夢 幻覚	軽快 軽快	高熱(39℃)、インフルエンザB型治療の為、本剤投与開始。本剤投与後、幻覚(小さな光がたくさん見える)、幻想(光に吸い込まれそうになる)、悪夢(爆弾が仕掛けられ爆発しそうな体験)出現。投与中止後、悪夢、幻覚、幻想軽快
185	B-07000088	女性	14歳	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラ ミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
186	B-07000123	男性	14歳	75 mg	塩酸アンブロキシロール 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	来院時、体温：39.2℃。夕方、A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用。服用30分後、異常行動発現。もうろうとして意識がクリア。「俺を殺す気か？」と言った。服用4時間後、2Fから降りてきて、再び意識もうろう状態。体温：39.0℃。「死ねと言うのか？」という言葉に母の呼びかけ「どうしたの」により意識が戻った。その後は普通。ご飯食べた。服用6時間後、2F寝室で就寝。服用8時間後、意識もうろう「何で、何で？」と言い泣いた。ベッドに戻して、うつ伏せにしたら意識が戻った。「お母さんがなんているの？」と言った。体温：37℃。服用開始2日目、朝、体温が下がって普通。
187	B-07000242	女性	14歳	不明		脳梗塞	不明	詳細不明
188	B-07000257	男性	14歳	75 mg	アセトアミノフェン	幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れた。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。
189	B-02002384	男性	15歳	150mg	リン酸ジメモルファン 塩酸アンブロキシロール 硫酸サルブタモール d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	認知不能症	回復	詳細不明
190	B-02003545	女性	15歳	75mg	リン酸ジヒドロコデイン アセトアミノフェン	浮動性めまい	回復	詳細不明
191	B-03000392	男性	15歳	150mg	セフジニル アセトアミノフェン ピペラシリンナトリウム スルピリン 塩酸ミノサイクリン	傾眠	回復	発熱のため受診。臨床的にインフルエンザと診断しリン酸オセルタミビルを5日間服用。服用一日後朝、嘔吐、発熱、歩行困難(フラフラ)、傾眠がち症状あり。投与中止後23日間、副作用継続。
192	B-04007755	女性	15歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシロール ヒベンズ酸チペピジン	てんかん	軽快	リン酸オセルタミビル150mg/日他を投与。投与開始3日で痙攣を発症、てんかんと診断。同日で服用終了。3ヶ月後、抗てんかん薬服用中。てんかんの症状はおさまっている。
193	B-05025715	女性	15歳	225mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン	意識変容状態	軽快	本剤を誤って75mg×3回/日で3日間服用後4日目1回服用し服用終了。服用開始2日目に解熱。服用開始3日目に意識障害(喋り方が緩慢になる)発現。服用終了1日後に軽度意識障害等あり入院。服用終了5日後意識障害軽快。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
194	B-06020356	女性	15歳	150mg	イブプロフェン ファロペナムナトリウム	意識変容状態	軽快	インフルエンザテストでは陰性。発熱があり、リン酸オセルタミビル、イブプロフェン、ファロペナムナトリウムを投与開始。3日後、意識混濁、尿失禁などにより入院。意識障害、不穏状態、脳波にて高振幅の徐波が全般的に認められたことから脳炎脳症と診断。12時間後ぐらいから意識回復。翌日元気になるが、脳波異常は残っている。
195	B-07000214	男性	15歳	75 mg	セフボドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。
196	B-03008278	男性	16歳	75mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン ツロブテロール 塩酸シプロヘパタジン	痙攣 意識変容状態	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の3時間後に足重感、4時間後に意識消失及び数分の痙攣。有害事象発現5分後に処置なしで回復、入院して投与中止、その後は有害事象を発現せず。
197	B-03010648	男性	16歳	150mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール ノスカピン ベタメタゾン・d-マレイン酸ク ロルフェニラミン	意識変容状態	回復	インフルエンザA、B型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夕食後75mgを服用。同日夜、3回続けて倒れ、意識喪失もあり。翌日昼、受診時は意識清明。
198	B-05021108	女性	16歳	150mg	マレイン酸フルフェナジン ロフラゼブ酸エチル 塩酸プロメタジン エチゾラム	幻覚(幻覚) 妄想(妄想)	軽快	3年前からうつ病発症。39℃の発熱により、リン酸オセルタミビル投与。翌日幻覚、妄想が発現したため入院。観念奔逸、幻覚妄想状態が5ヶ月続き軽快退院。以後3年間脳波測定に異常所見あり。現在もうつ状態で通院中。
199	B-07000113	男性	16歳	75mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。
200	B-07002390	男性	16歳	75 mg	鎮咳配合剤(1)	異常行動 浮動性めまい 転倒	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、転倒、頭部外傷、ふらつき発現。体温:38.4℃。服用2日目、異常行動発現。頭部外傷、4針結合。服用5日目、朝服用。その後は、本剤服用せず。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
201	B-03009466	女性	17歳	75mg		ミオクロオース	回復	発熱と頭痛から、自宅にあったリン酸オセルタミビル75mgを服用。4時間後、脱水予防のための点滴を受け、その30分後から不随意運動出現。熱が高くなったり緊張したりすると憎悪。インフルエンザA型と診断。事象発現3日目朝に不随意運動消失。
202	B-05023787	男性	17歳	75mg		意識変容状態 譫妄	回復	発熱(38.8℃)、頭痛、咳、咽頭痛にて確認判定後本剤処方。内服開始後、ふらつき自覚。 翌日、服用しふらつきあり。 深夜、体温37.8℃意識障害(海で自分が溺れている錯覚を感じる等)発現するが1時間程で消失。 翌朝、本剤服用中止。
203	B-05025716	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン	意識変容状態	軽快	インフルエンザ治療(確定はしていない)のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用開始3日後解熱、夕方より意識障害(会話が通じずボーっとしていることが多い)発現。その後も意識障害継続。本剤5日間服用終了翌日に近医で意識障害指摘され入院。やや前頭葉に優位に広汎性の高振幅θ waveが頻発。炎症性脳炎、ウイルス性脳炎の可能性のためステロイド、アシクロビル投与開始。意識障害発現後13日後に軽快、脳波異常も消失。
204	B-07000068	男性	17歳	75 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。 約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおかしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。
205	B-07000217	男性	17歳	150 mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がボーとするとした自覚症状を訴えた。精神障害発現。翌日も同様。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。
206	B-07000899	男性	17歳	75 mg	アセトアミノフェン 小青竜湯	激越	回復	発熱39.2℃。インフルエンザB型診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤75mg服用した夜に興奮(興奮してあばれた)発現。患者の家族からTELがあり、その後は本剤は服用していない。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
207	B-07002263	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン	統合失調症様障害	不明	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用6日目、朝の服用にて、服用終了。そのころから、言動に総合性が無くなった。意識は清明、見当識ありだが、会話に混乱あり。服用終了2日後、急性混乱状態発現。神経学的には明らかな脱落症状なし、MRI、ルンパールを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を疑う。
208	B-07003580	男性	17歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜間、異常行動(あばれる)発現。押さえつけていないといけないう状態であった。投与開始2日目、何でも出来てしまいそうな気持ちだったらしい。異常行動回復。投与開始6日目にて本剤投与終了。
209	B-07000064	男性	18歳	75 mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。
210	B-02013958	女性	19歳		バルプロ酸ナトリウム	痙攣	回復	全般性てんかんの治療中(開始日:2002/02/18)。インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を5日間投与。投与終了後5日後に全身性けいれん、意識障害が発現。投薬により症状軽快。2日後には症状安定。
211	B-04001616	男性	19歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸メトホルミン グリメピリド	譫妄	回復	ブラダーウィリー症候群、糖尿病、中等度精神発達遅滞により治療中(開始日:不明)。発熱があり、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日間服用し(5日目の朝も服用したかもしれない)、症状は治まった。投与終了後3日目(2日目かもしれない)の夕食時より、興奮、意味不明の発言、言動まともなくなり意味不明の記号を書き続ける、手を洗い続ける等の事象が発言。翌日も言動まともならず、「誰かが来る」と怖がる。事象発現4日目、混乱がつづくため入院となる。他剤投薬により症状は軽減。事象発現から12日目に譫妄は回復し、退院した。
212	B-05017979	女性	19歳	150mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩化リゾチーム 含嗽吸入原液ミチノ 塩酸ジフェニルピラリン インドメタシン	意識変容状態	後遺症	高熱、感冒症状にて受診しインフルエンザと判断される。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与2日後、症状軽快にあるも微熱、感冒症状認めるため本剤服用。就寝し翌朝応答無く容体異常に気付き、救急搬送される。意識障害重篤。その約5ヶ月後意識が徐々に回復。現在、リハビリ入院中。意識はつきりしており、記憶の一部に喪失あるも、応答可能であるが、下半身麻痺あり。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
213	B-07000226	男性	20歳	75 mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。内服して就寝。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。
214	B-07000060	女性	21歳	150mg	ブラプロフェン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン 配合剤	大発作痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。
215	B-07001419	男性	22歳	150 mg		うつ病 自殺念慮	回復 回復	風邪症状にて受診し、インフルエンザB型の診断を受け、リン酸オセルタミビル4日分処方。2回目服用開始後くらいより、気持ちが落ちて自殺したくなる感じなどのうつ状態発現。本剤服用終了4日後、気持ちも落ち着いてきた。本剤服用終了7日後、再び気持ちが落ち込んだ。うつ状態で自殺念慮もあるため、スルピリド処方。本剤服用終了9日後、頭部MRIは正常。本剤服用終了11日後、脳波は前頭部に徐波あり。
216	B-05000146	男性	23歳	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目朝の本剤服用前、意識消失発作(数分間)発現、救急受診時には意識回復したが、観察入院。夕刻、本剤を内服するが、有害事象発現せず。翌日退院。
217	B-07003777	男性	23歳	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。翌朝、本剤服用後、意識障害、痙攣発現。一過性で10秒後に回復。
218	B-01000445	女性	24歳	150mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セフカペンピボキシル テプレノン リン酸ジメモルファン	味覚異常	回復	咽頭炎疑いにて、抗炎症剤・胃薬・抗菌剤処方。翌日インフルエンザ治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与終了後の翌日に味覚障害発現。障害程度は、味覚減退/味覚鈍麻(味覚がよわい)。貧血・舌炎は無し。その約1週間目頃より、味覚障害に対する治療無しで回復。
219	B-06024996	女性	24歳	75mg		感情不安定 譫妄	回復	本剤投与開始後、呼吸がなくなり、入院し、せん妄状態、感情失禁発現。本剤、投与中止。投与中止後も約2時間毎にせん妄状態と覚醒状態を繰り返す。2日後、退院
220	B-07000089	男性	25歳	150 mg		意識消失	軽快	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
221	B-05023106	女性	26歳	150mg	ドンペリドン アセトアミノフェン	脳炎	回復	嘔吐、発熱にて受診、インフルエンザ検査できないが、本剤他処方。 翌朝、奇声等精神症状発現し、精神科入院。 呼吸困難、意識混迷、脳炎として加療。半年後歩行可能となり、1年後後遺症なく退院。
222	B-03001782	男性	27歳	150mg		味覚異常	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与。 3日後、味覚異常発現。 発現4日後、味覚異常軽快
223	B-05000768	男性	27歳	150mg	カルマバゼピン バルプロ酸ナトリウム クロナゼパム	眼の脱臼(眼球上転) ジスキネジー(不随意運動(四肢))	回復	元来強剛性脳性麻痺がある患者。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開始。翌日眼球上転、不随意運動(四肢)が発現。本剤の投与を中止し、翌日に回復した。
224	B-03005261	女性	28歳	150mg	硫酸セフピロム	失神 心室性期外収縮	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3回目の2時間後に意識消失、入院。来院時、意識回復、血圧正常も、体温上昇及び心電図上期外収縮の頻発を認める。投与4回目においても、全身性脱力及びモニター上期外収縮を認める。3日目の服用中止、以後神経症状なし、その他の有害事象も回復。
225	B-04000134	女性	28歳	150mg	塩酸テルビナフィン アセトアミノフェン	意識変容状態 汎血球減少症	軽快	爪白癬の治療のため塩酸テルビナフィンを服用中。また、毎年の検診で白血球減少、貧血との由。40℃の高熱があり、診断キットでは(-)だったが、リン酸オセルタミビル150mg/日とコロナールを処方される。5日間服用後、翌朝から意識障害があり、受診したところ、汎血球減少があり、入院。搬入時は意識清明だったが、なぜ来たのかわからないとのこと。入院4日目、徐々に解熱、意識清明だが記憶、記銘力障害がのこる。脳波上徐波が目立つ。12日目、汎血球減少症、意識障害は軽快し、退院。言語リハビリへ通院。退院から1週間後のDLSTで、リン酸オセルタミビル及びアセトアミノフェン(-)、塩酸テルビナフィン(+/-)。
226	B-05000873	女性	28歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) 鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシソール	痙攣(痙攣) 失神(失神)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目の朝服用後1~2時間後腹痛、嘔吐、手足のしびれあり。意識消失、失神、痙攣発現。数分で軽快、特に処置せず。夜に本剤投与したが何事もなかった。翌日受診するが特別な所見は認めず。
227	B-06024913	男性	28歳	75 mg	アセトアミノフェン	感覚鈍麻 振戦 無力症	回復 回復 回復	4年前に本剤内服しているが問題なし。A型インフルエンザと診断、本剤投与2~3時間後、しびれ、手の振るえ、脱力感発現。 翌日も回復しないため、他院入院し午後症状改善。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
228	B-07000133	男性	28歳	75 mg	クラリスロマイシン ロキソプロフェンナトリウム テブレノン	譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。投与中止8日後、意識もうろう、うわ言軽快。
229	B-07000150	男性	28歳	150 mg	アセトアミノフェン スルピリン	異常行動	軽快	40℃以上の高熱続き、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤服用後、就寝。死神が襲ってくる、体がバラバラに裂かれる、殺される(色々な方法で)等の夢を見て、怖くて眠れない。眠ってもすぐ起きてしまう。 服用2日目、朝、昨晚のことを家族に話す。また、暴力的な語気で家族にあたるなどする。異常言動発現。夕方、本剤服用。 服用3日目、朝、解熱せず受診。受診時、怒っている様に思われた。患者の希望あり、入院。インフルエンザ脳症の疑いはなし。 服用から6日目、異常言動軽快。本人は発熱している間のことはほとんど覚えていない。
230	B-07000151	男性	28歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル フロセミド 炭酸水素ナトリウム コハク酸メチルプレドニゾロン ナトリウム 乾燥スルホ化人免疫グロブリン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。
231	B-07003016	女性	28歳	75 mg		意識変容状態	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。意識がなくなり倒れていた。 投与開始2日目、症状回復。
232	B-01000940	女性	29歳	150mg	不明	味覚異常	回復	B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビル投与。本剤投与3日目に味覚障害、嘔気、食欲不振発現し、本剤服用後3～4日間続き、対症療法の治療を行う。本症状発現3日後、味覚障害等の症状回復。
233	B-03010985	女性	29歳	150mg	ブロン錠12 カルボシステイン レバミピド アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目深夜、ブロン錠を服用後、耳鳴り、眩暈、ふるえが出現。4時間後、全身性痙攣が発現。眩暈、振戦、心房細動を認める。治療により2時間ほどで回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
234	B-07000105	女性	29歳	75 mg	アセトアミノフェン 塩酸エピナスチン	意識消失 異常行動	回復 軽快	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。
235	B-07002383	男性	29歳	150mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣発現。
236	B-05024101	男性	30歳	150mg		健忘	回復	インフルエンザの治療で余ったリン酸オセルタミビルについて、頭痛に対して服用し、約40分後に区間健忘発現。数日後に記憶が戻るが、その間の記憶が消失している。記憶が戻った後は特記すべき事象が見られなかった。
237	B-07001809	男性	30歳代	不明	アトルバスタチンカルシウム 水和物	意識消失	不明	リン酸オセルタミビル服用。車の運転中に一瞬自分が何をしているのか分からないような状態に陥った。意識消失が発現。
238	B-07003701	男性	30歳代	不明		痙攣	不明	リン酸オセルタミビル服用後、意識消失、痙攣発現。
239	B-07013134	女性	30歳	150 mg		痙攣 意識変容状態 心室粗動 心室性頻脈 心室細動	回復 回復 回復 軽快 軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。同日、心室性頻脈、心室細動によりICU。服用2日目、軽快のため、ICUより一般病棟へ移動。服用から19日目、未だ入院中も通常に生活されている。
240	B-02002740	女性	32歳	150mg	ホスホマイシンナトリウム ロキソプロフェンナトリウム セフボドキシムプロキシセチル レバミピド	感覚鈍麻	不明	詳細不明
241	B-03001385	女性	32歳	150mg	レボフロキサシン 塩酸アムプロキシール デブレン ファモチジン	味覚異常	未回復	リン酸オセルタミビル150mg/日を5日間処方。本剤投与終了8日後に口腔内違和感、無味覚症発現し、未回復。
242	B-03010917	女性	32歳	150mg	メキタジン 塩酸チアラミド リン酸コデイン	視野欠損	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。4日目の夜、内服後に視野が狭くなり、気分不良となった。1～2時間後には回復。